＜様式1＞

平成 27年 06月 01日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	ロングライフ自然素材住宅
グループの名称	ロングライフ自然素材住宅の会
直近採択グループ番号 ※過去に地域型ブランド化事業で採択を受けたグループは記入	--

（グループ代表者）

代表者名	上原　弘一郎　代表者印
代表者所属先	ウイズダムデザイン
代表者構成員番号	Ｖ-1
代表者所在地	滋賀県草津市野村6丁目10-16
代表者電話番号	077-566-0779

（グループ事務局）

事務局事業者名	ウイズダムデザイン
事務局構成員番号	Ｖ-1
事務局担当者名	上原　弘一郎　印
事務局郵便番号	525-0027
事務局所在地	滋賀県草津市野村6丁目10-16
事務局電話番号	077-566-0779
事務局FAX	077-566-1585
事務局担当者E-mail	wisdom-d@ap.main.jp

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	ロングライフ自然素材住宅
２．グループの名称(必須)	ロングライフ自然素材住宅の会
３．直近採択グループ番号(必須)	--
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	滋賀県
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	上原　弘一郎
７．グループ代表者の所属先(必須)	ウイズダムデザイン
８．グループ代表者の構成員番号(必須)	V-1
９．グループ代表者所在地(必須)	滋賀県草津市野村6丁目10-16
１０．グループ代表者電話番号(必須)	077-566-0779
１１．グループ事務局事業者名(必須)	ウイズダムデザイン
１２．グループ事務局の構成員番号(必須)	V-1
１３．グループ事務局担当者名(必須)	上原　弘一郎
１４．グループ事務局郵便番号(必須)	525-0027
１５．グループ事務局所在地(必須)	滋賀県草津市野村6丁目10-16
１６．グループ事務局電話番号(必須)	077-566-0779
１７．グループ事務局FAX番号(必須)	077-566-1585
１８．グループ事務局担当者E-mail(必須)	wisdom-d@ap.main.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ. 原木供給	3	
Ⅱ. 製材・集成材製造・合板製造	10	
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	5	
Ⅳ. プレカット	1	
Ⅴ. 設計	1	
Ⅵ. 施工	5	
Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通	0	
Ⅷ. 木材を扱わない流通	0	
Ⅸ. Ⅰ～Ⅷ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の①、②、③の番号を番号記入欄に記入してください。 ①都道府県の産地認証制度等によるもの ②民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) ③林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	静岡県産材	静岡県	静岡県県産材認証制度	1	国内
	愛知県産材	愛知県	愛知県産材認証機構認証制度	1	国内
	合法木材	国内	合法木材認証制度	3	国内
	合法木材	国外	合法木材認証制度	3	国外
	オウシュウアカマツ	国外	PEFC木材認証制度	2	国外

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅）経験工務店＋未経験工務店の合計	10	戸			地域材加算合計	10 戸
	うち経験工務店による長期優良住宅　合計	2	戸	うち未経験工務店による長期優良住宅　合計	8 戸		
	うち申請が確実	1	戸	うち申請が確実	4 戸	地域材加算（うち申請が確実）	5 戸
	うち申請が未確定	1	戸	うち申請が未確定	4 戸	地域材加算（うち申請が未確定）	5 戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）　合計	0	戸	地域材加算合計	0 戸		
	うち申請が確実	0	戸	地域材加算（うち申請が確実）	0 戸		
	うち申請が未確定	0	戸	地域材加算（うち申請が未確定）	0 戸		
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）　合計	0	戸	地域材加算合計	0 戸		
	うち申請が確実	0	戸	地域材加算（うち申請が確実）	0 戸		
	うち申請が未確定	0	戸	地域材加算（うち申請が未確定）	0 戸		
C．平成２７年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物						
	うち申請が確実	0	棟	0	㎡		
	うち申請が未確定	0	棟	0	㎡		
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール　(必須)	原則各住宅供給業者の申込み順とする。残り2戸となった段階で未経験工務店に優先的に配分する場合もある。						
E. 平成26年度の執行状況（H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須）	長期優良住宅						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績見込み		
					竣工済	戸	竣工予定　戸
	木造建築物						
	採択棟数	棟	採択床面積	㎡			

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
22	Ⅰ － 2	天竜森林組合		431-3306	静岡県浜松市天竜区船明1951-1	053-926-2800
33	Ⅰ － 3	真庭木材市売株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾1番地	0867-42-0602
23	Ⅰ － 14	愛知県森林組合連合会		460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内三丁目5番16号	052-961-9156
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
22	Ⅱ － 4	有限会社アマノ		437-0226	静岡県周智郡森町一宮175	0538-89-7521
33	Ⅱ － 5	山下木材株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾218	0867-42-1100
34	Ⅱ － 6	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
33	Ⅱ － 7	銘建工業株式会社		717-0013	岡山県真庭市勝山1209	0867-44-2695
34	Ⅱ － 8	中本造林株式会社		738-0224	広島県廿日市市栗栖508番地	0829-72-0222
36	Ⅱ － 9	株式会社山城もくもく		779-5303	徳島県三好市山城町下川1483	0883-86-2000
23	Ⅱ － 13	昭典木材株式会社		441-1621	愛知県新城市下吉田字紺屋平15番地の1	0536-34-0013
36	Ⅱ － 20	西徳木材株式会社		779-5161	徳島県三好市池田町中西ナガウチ274番地1	0883-74-0911
44	Ⅱ － 21	有限会社コウエイ		877-0021	大分県日田大字求来里765-1	0973-22-5689
32	Ⅱ － 23	島根合板株式会社		697-1326	島根県浜田市治和町895-2	0855-27-1625
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
22	Ⅲ － 4	有限会社アマノ		437-0226	静岡県周智郡森町一宮175	0538-89-7521
25	Ⅲ － 10	有限会社山本材木店		520-3121	滋賀県湖南市西寺2-4-13	0748-77-3697
29	Ⅲ － 11	有限会社フロンティア		634-0006	奈良県橿原市新賀町238番地の1	0774-60-2135
23	Ⅲ － 12	大森木材株式会社		441-1338	愛知県新城市一鍬田字道目記1番18	0536-26-1670
13	Ⅲ － 22	伊藤忠建材株式会社		103-8419	東京都中央区日本橋本町2-7-1	03-3661-3281
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
23	Ⅳ － 12	大森木材株式会社		441-1338	愛知県新城市一鍬田字道目記1番18	0536-26-1670
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
25	Ｖ － 1	ウイズダムデザイン		525-0027	滋賀県草津市野村6丁目10-16	077-566-0779		
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工−1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							○	○
26	Ⅵ － 15	寺坂工務店		617-0002	京都府向日市寺戸町修理式2-82	075-935-2227		○
25	Ⅵ － 16	丸太屋一秀		524-0011	滋賀県守山市今市町104-2	077-583-7136		○
25	Ⅵ － 17	シライ建築		520-2304	滋賀県野洲市永原1617-2	077-587-5643		○
24	Ⅵ － 18	谷本建築		518-1326	三重県伊賀市槇山598-20	0595-42-1394		○
25	Ⅵ － 19	勝見工務店		524-0211	滋賀県守山市小浜町765-1	077-585-1721		○
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工－2（長寿命型）

<様式 2-2・Ⅵ-2>

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績				補助金の活用実績	被災地に該当
Ⅵ. 施工-2（長寿命型）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅			
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○	○
26	Ⅵ － 15	寺坂工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
25	Ⅵ － 16	丸太屋一秀	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸		
25	Ⅵ － 17	シライ建築	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	○	
24	Ⅵ － 18	谷本建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸		
25	Ⅵ － 19	勝見工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績						補助金の活用実績	被災地に該当
Ⅵ. 施工-3（高度省エネ型）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造認定低炭素住宅		うち木造ゼロエネ住宅			
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○	○
26	Ⅵ － 15	寺坂工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
25	Ⅵ － 16	丸太屋一秀	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
25	Ⅵ － 17	シライ建築	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
24	Ⅵ － 18	谷本建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	○	
25	Ⅵ － 19	勝見工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ．施工－４（優良建築物用）

<様式 2-2・Ⅵ-4>

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績						補助金の活用実績
Ⅵ．施工-4（優良建築物）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅		着工床面積		
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○
26	Ⅵ － 15	寺坂工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
25	Ⅵ － 16	丸太屋一秀	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
25	Ⅵ － 17	シライ建築	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	
24	Ⅵ － 18	谷本建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
25	Ⅵ － 19	勝見工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通

＜様式 2-2･Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ. 木材を扱わない流通						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅸ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種						
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ロングライフ自然素材住宅	(地域型住宅供給対象地域) 滋賀県
2．グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ロングライフ自然素材住宅の会	(結成年) 2015 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	－－	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	地震に強く、自然素材の心地よさの中で長期にわたって住み継げる点を重視する為、下記の取り組みを行う。 1）全棟地盤調査の実施、それを基に地盤特性を考慮した基礎構造計算を実施し、全棟ベタ基礎とする。 2）耐震等級3、耐風等級2の確保。 3）全棟『木造軸組工法住宅の許容応力度設計』に準じ、梁断面の決定を行う。 4）内外ともに使用する仕上げ材は自然素材又はF☆☆☆☆とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	住宅建設の現場で生産性や施工の効率化が進むにつれ、建て主の家に対する認識は『建てる家』から『買う家』にかわり、ともすると、建設業は製造業に近づいていくのではないか。過度の施工の効率化は施工者の技能低下という側面もある。 事務的な効率化を図りつつも、ものづくりの集団としての意識を持ち、下記の『手仕事が見える』取り組みを行う。 1）床仕上げは原則無垢フローリング、畳敷き又はコルクタイル仕上げとする。 2）内壁仕上げは原則、塗り壁又は羽目板張り仕上げとする。 3）2ヶ所以上大工の手仕事による造作家具を設置する。 4）室内の木製建具は原則既製品は使わず、製作品とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域に残る伝統的な建物との調和するために木や土、紙や石など自然の素材を基とする和風の意匠を原則とする為、 下記の取り組みを行う。 1）原則室内に天井は設けず、構造材の現し仕上げとする。 2）調湿性のある自然素材にて内部仕上げを行う。 3）省エネルギーに関わるパッシブデザインの観点として、軒を深くし又は庇を設け、風の通り道を考慮し窓を設ける。	◎
④ ①～③の背景	スクラップ＆ビルドの時代からストックの時代へと社会情勢が変化した中で、住宅を高寿命化することや 環境負荷低減による循環型社会への寄与を目的とするとともに、住まい手の身体への負荷を低減できるよう、 構造材現しの自然素材の家づくりに取り組む。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	柱材の規格品が使用できるよう階高及び軒高を標準仕様化する。 その他可能な部分についても標準化を行い、標準仕様書としてとりまとめを行う。	◎
	②建材・資材調達の共同化や事務の合理化	適切な地域材や自然素材の調達について、施工者の発注前に事務局が内容及び数量の再確認を行うとともに、 事務局は推奨建材の手配を行う。	◎
	③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	作成した本地域住宅の標準仕様書を基に、情勢を勘案できているか、改善点はないか適宜検討を行うよう努める。	○
	④生産の合理化等に向けた事務局の役割	仕上げ材及び施工資材について、一定の品質を担保する為に推奨建材を取りまとめるとともに施工業者へ周知を行う。	◎
b.	①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	設計業者の監理とは別に、設計業者はグループ推奨団体の検査項目に準じ検査報告及び写真提出を行なう。 （2重検査体制）	◎
	②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	施工品質について施工業者と利害関係のない設計業者が第三者監理を行い、検査結果等を建て主に報告する。 （縄張りの確認、基礎配筋検査、コンクリート荷卸し時検査の立会、コンクリート圧縮強度試験の立会、 建て方時の立会、構造金物の確認、中間検査の立会、完了検査の立会等）	◎
	③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	施工業者の見積書について、施工業者と利害関係のない設計者が第三者の立場で内容の確認を行い、 建て主に内容説明を行う。	◎
	④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	設計者は建て主との契約時に、書面にて無垢材の特性(割れや反り等)の説明、 自然素材の特徴（色むらや表情の違い）の説明を行い、署名押印をいただく。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		設計業者または施工業者は適宜サンプルや色見本などを用い、建て主を含めた理解の共有に努める。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式３－２＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ロングライフ自然素材住宅	(地域型住宅供給対象地域) 滋賀県
2．グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ロングライフ自然素材住宅の会	(結成年) 2015 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理診断・点検方法の共通化	建て主に住宅履歴情報システムの説明を行い、要望があれば 住宅瑕疵担保責任保険法人の住宅履歴情報システムに情報の蓄積を行う。	○
	②メンテナンス・リフォーム基準の整備	設計業者は住宅引渡し時に建て主へ自然素材等のメンテナンス方法を記載した冊子の内容を説明し配布する。	◎
	③住まいの管理・DIY相談会体験会などの実施	定期的なメンテナンスが重要であることを建て主に説明し、工事中建て主に可能な範囲で内壁の左官塗りや 外部木部の塗装など体験して頂く事で、日々のメンテナンスの方法や重要性伝える。	◎
	④グループ内における維持管理検討委員会等の設置	事務局は建て主への住宅履歴情報や、メンテナンス方法等の説明内容を把握し、 改善点はないか適宜検討を行うよう努める。	○
b	①グループ構成員の倒産廃業時のバックアップ体制	グループ構成員の施工業者が倒産廃業した場合、施工業者に代わり検査保証会社が建物引き渡し後から 10年間について原因調査及び補修工事の金銭保証を行う。	◎
	②グループ独自の瑕疵担保ルールの整備	住宅瑕疵担保責任保険について、確実に加入する為に施工業者は保険受理書を事務局に提出し、 事務局はこれの確認を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		全棟地盤調査を実施し、結果に基づく補強を行い、地盤保証の保険加入を行う。 合わせて請負業者賠償責任保険、生産物賠償責任保険、建築工事保険、建築士賠償責任保険、業務上災害保険、 現場見学傷害保険等の加入を行う。	◎

エ．グループの技術力の向上

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	本地域型住宅の共通ルールや標準仕様、推奨建材等の勉強会を開催する事で、設計業者及び施工業者の 共通理解を図るとともに、施工技術の留意点及び改善点の勉強会を行う。 グループ業者の地域材森林見学及び製材所・プレカット工場、施工現場等の見学会を開催する。	○
	② ①の研修会等の実施内容とその開催頻度	事務局を中心に内容の取りまとめを行い、　年3回程度開催する。	○
	③総合的な需給計画の策定等の中長期的な取組		
	④ ③に基づく業種ごとの合理化への取組		
b	①省エネ技術講習会への参加目標人数	設計業者及び施工業者の全業者を目標とする。 講習会へ参加できなかった場合、住宅省エネルギー技術講習会ホームページ内の研修資料デジタルブックを用いて 内容確認を行う。	◎
	②省エネ技術講習会への参加促進のための取組	事務局が設計業者及び施工業者に対して講習会の開催日等連絡を行う事で、講習会への参加を促す。	◎
c	①新たな技術等の導入や開発の検証のための方法	和紙の原料である楮を本地域型住宅で活用できないか、地域の照明作家を交え検討を行う。	◎
	②新たな技術等の導入や開発に向けた実証実験の実施等	2ヶ月に1回をめどに照明作家を交えた検討を行い、試作を開発し建て主へ提案を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入			

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）ロングライフ自然素材住宅	（地域型住宅供給対象地域）滋賀県
2．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）ロングライフ自然素材住宅の会	（結成年）2015 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①地域材ごとの使用部位（必須）	静岡県産材、愛知県産材、合法木材→主要構造部 オウシュウアカマツ→梁（必要用な場合、部分的な使用に限る）	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合（必須）	主要構造部に使用する地域材は、柱・梁・桁・土台に使用する木材材積の合計値の80%以上及び、 床面積3.3㎡あたり0.3㎥以上、かつ全体で7㎥以上使用する。	◎
	地域材利用に関する共通ルール（必須）	主要構造部の地域材は原則静岡県産材とするが、建て主の要望や情勢により愛知県産材又は合法木材を 使用する場合がある。 『木造軸組工法住宅の許容応力度設計』に準じた梁断面の算定により上記地域材の使用が困難な場合は、 PEFC木材認証制度によるオウシュウアカマツにて部分的に代用する。	◎
	地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組	事務局にて各地域材の生産状況及び価格の把握を行い、施工業者へ提示するよう努める。	○
	②グループ全体における地域材の需給予測		
c	①-1 畳の活用	和室やリビングの一角に畳スペースを設ける等、日本固有の文化である畳の有効活用に努める。	○
	①-2 和瓦の活用	他の屋根仕上げ材と比べ断熱性や耐久性は良いが、耐震性は劣るので、使用の際は防災瓦とする。	○
	①-3 襖の活用	和風意匠の継承として、和室の建具には襖を設ける。	◎
	①-4 障子の活用	省エネルギー対策と和風意匠の継承の観点で、和室の開口部はアルミ樹脂複合窓（LOW-E複層ガラス）とし、 加えて内障子を設けるよう努める。	◎
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	自然素材を原料とする塗り壁や板張り等、体や環境への負荷が少ない素材を選定することにより循環型社会に貢献する。	◎
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	塗り壁、瓦、板張り等伝統的なデザインの継承に努める。	○
	②地域の住まい方の継承につながる取組	元来、民家は襖や障子等空間を間仕切る建具を使用することで可変性の高い住まい方をしてきた。 この合理的な住まい方を継承するため、LDKは一室空間を前提とし適宜間仕切りを設ける事で可変性の高い 住まい方を提案し、合わせて、子供室等短いサイクルで使用方法が変わる部屋の間仕切りは建具等を使用することで、 空間の可変性に寄与する。	◎
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	地域に残る伝統的な建物との調和、ひいては周辺景観との融和を重視するため、 屋根は軒の深い切妻屋根とするよう努める。	○
	④和の住まいの要素を取入れた取組	真壁による構造現しや塗り壁仕上げ、加えて和紙を使用することで和の要素を取り入れる。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入			

その他

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災地への地域経済の活性化に利する為、可能な限り壁の充填断熱には 福島県『うつくしま、エコリサイクル製品』認定品のセルロースファイバーを使用する。	○

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。